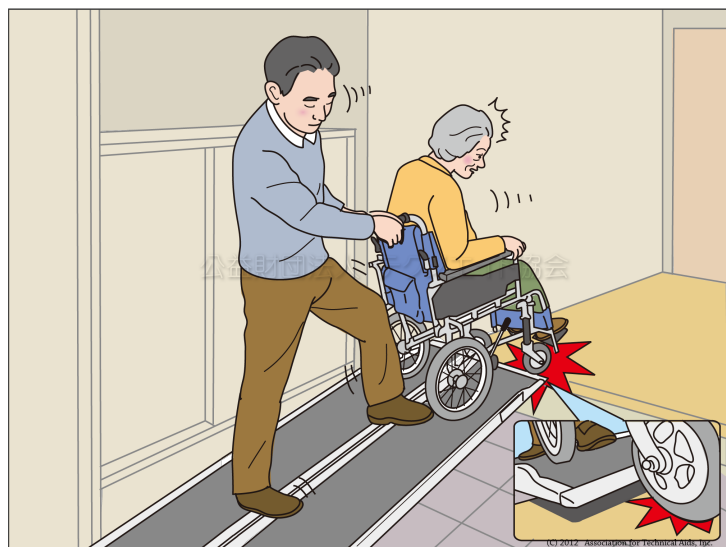


Case : 219

上下を間違えて設置したことにより、キャスタが引っかかってしまう

場面の説明

スロープを使って階段を下りようとしたが、スロープの設置を上下逆さまにしていたため、車いすのキャスタが引っかかってしまった



利用シーン	 移動
	 階段の昇り降り
	 外出
主な利用場所	 階段
	 玄関
	 段差・縁石
介護保険の種目	 スロープ
分類コード (CCTA95)	183015 (携帯用スロープ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

ほとんどの製品では、スロープの上端、下端の指定があり、スロープに乗り込み易い工夫が施されています。特にキャスタは小径のため段差の影響を受け引っかかり易いので、上下を正しく設置するよう注意しましょう。スロープに適切な表示がなくわかりにくい場合もありますので、シールなどでわかり易く表示しておくことも、うっかりミスを防ぐポイントとなります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：よく確認せずにスロープを設置した
 人：そもそも上下を間違えて認識していた
 人：上下があるスロープと知らされていなかった
 モノ：上下がわかりにくい構造だった